

うるま市包括的民間委託導入に係る 個別ヒアリング 実施結果概要

うるま市では、将来にわたって“住みよいまち”であるため、道路や公園などのインフラ施設の新たな維持管理手法として注目されている「包括的民間委託」の導入を検討しています。

導入の検討にあたり、本市維持管理業務に携わる事業者への「個別ヒアリング」を実施しましたので、結果概要について公表します。

個別ヒアリングにご参加いただいた民間事業者の皆様に改めて御礼申し上げます。

1. 実施概要

日程：5/22（水）～5/24（金）

場所：うるま市役所 会議室または打合せスペース

<主な質問項目>

- ・ 参画に向けての懸念事項確認
- ・ 受注体制・企業の参加資格要件の確認
- ・ 配置技術者の参加資格要件の確認
- ・ 対象エリアの確認
- ・ 性能規定方式の試行に対する期待事項や懸念事項の確認
- ・ 包括委託の業務範囲・内容の確認

2. 参加事業者

14社

3. 主な意見

主な意見は次のとおりです。

- (1) 受注体制・企業の参加資格要件
 - ・ 異業種間でのつながりが少ないことや、異業種の業務内容・業務量が把握できない中でのJVまたは事業協同組合の組成に不安があるという意見が多くありました。

- ・ そこで、各業務の業務量または比率を示めすことで、JV または事業協同組合組成の際の参考になることを確認しました。
 - ・ また、将来的には組合や業者会での受注を検討したいという意見がありました。
- (2) 配置技術者の参加資格要件
- ・ 配置技術者の参加資格要件は概ね問題ないことを確認しました。
 - ・ 配置技術者を業務途中で変更可能な要件にしてほしいという意見がありました。
- (3) 対象エリア
- ・ モデル事業における対象エリアは概ね問題ないことを確認しました。
 - ・ 導入エリア拡大時にはエリアを分割して発注した方が良いという意見がありました。
- (4) 契約年数
- ・ 契約年数は3~4年が適切であるという意見が多くありました。
 - ・ 一方、モデル事業の段階では契約期間を1年間としてもよいのではないかという意見がありました。
- (5) 性能規定の試行
- ・ 性能規定の導入により、業務を平準化し、作業員の時間の有効利用を期待する意見が多くありました。
 - ・ 一方で、受注者による実施判断に対する不安の声もありました。受注者が予算内で適切に対応できるよう、実施判断の優先順位の目安がほしいという意見がありました。
- (6) 窓口・巡回・マネジメント業務
- ・ 窓口業務については、苦情対応に迫られる懸念や、窓口専用の人員配置が難しいという意見がありました。
 - ・ 巡回業務については、専門分野以外の施設を確認することに対する不安の声が多くありました。
 - ・ 一方で、窓口・巡回・マネジメント業務についても問題なく対応可能であるという意見もありました。
- (7) 事業者選定方法
- ・ プロポーザル方式に不慣れであるため、どのように提案してよいかわからないという意見が多くありました。

4. 今後のスケジュール

今回頂いたご意見を参考にし、引き続き民間事業者との対話を重ねて、包括的民間委託導入検討を進めます。また、第2回事業者説明会にて、プロポーザル方式に関する説明を行います。

なお、令和6年度は下記の事業者向けプログラムの開催を予定しております。

<事業者向けプログラム>

| | |
|-----------|-----------------|
| 個別ヒアリング | 5/22～5/24 ※今回実施 |
| 先進地現地視察会 | 7～8月頃 |
| 第2回事業者説明会 | 9～10月頃 |



<予定>

| | |
|-------------|-----------|
| 公募開始 | 11月頃 |
| 包括管理モデル事業開始 | 令和7年度4月以降 |

5. 事業者向けプログラム申込方法

本事業に興味・関心をお持ちの方は、下記 URL または QR コードより事業者向けプログラムにお申込みください。

<https://forms.office.com/r/de2GF6r8KY>

